

令和 2年 8月 吉日作 成
令和 3年 2月 吉日一部修正

関 係 者 各 位

株式会社 大 和
代表取締役 黒 木 幸 徳

【YK-T】(=有機肥料=堆肥)の作り方

【YK-YHG】の作用を活用して、牛糞や豚糞、鶏糞あるいは枯草類、食品残渣物等を原料として有機肥料(堆肥) (= 【YK-T】) を作るには、どのようにして作るのかについて以下説明します。

記

1 用意するもの

(1) 常備しておくもの

- ① 【YK-YHG】 20 kg (弊社または販売代理店から入手していただきます。)
- ② 温度計 (製造途中の温度を測定します。)
- ③ シート (床がコンクリート舗装してある場所で製造する場合は不要)
- ④ パイプ (エアーを通すための長短があるパイプを数本~10 数本、竹筒でも可)

(2) 都度用意するもの

- ① 堆肥の原料 (牛糞、豚糞、鶏糞、食品残渣物、その他枯草類等) 1,000 kg
これは牛舎や豚舎あるいは鶏舎から取り出して処理をしていないものです。
- ② 【大和光輪石】パウダーを入れた水 (上記の原料に掛けます。)
- ③ 糖蜜 (使用する場合は 10 倍に薄めて使用します。)

2 製造方法

【YK-T】を製造するのは【YK-YHG】です。

【YK-YHG】が働くためにはエアーが必要ですので、少しでもエアーを与えるためにパイプを施設するのですが、それだけでは不十分なので上下に攪拌してエアーを入れるようにします。

(1) 初めに、同製造場所は雨に濡れないようにすれば屋外でも構いません。

つまり屋外で行う場合は上部に雨が降っても濡れないようシートを被せる等をしてください。

- ① コンクリート舗装がないところで製造する場合は、最初にシートを敷きます。

② パイプを並べます。(別添図の通り。)

(2) 製造工程

- ① その上に1の(2)で準備した原料の半分(約 500 kg)を積み上げます。この積み上げるとき、同時に【大和光輪石】パウダーを【YK-YHG】の上、及び原料の中に5 kg程度を散布し混ぜます。
- ② このとき 250 kg程度積み上げたとき、先(2に(1)の②)に施設したパイプと重ならないようにパイプを施設します。
- ③ 同 500 kg積みの中央部を少し掘って、同所に【YK-YHG】20 kg全部を置きます。
- ④ 同【YK-YHG】がたっぷりと湿る程度に約10倍に希釈した糖蜜を散布します。
- ⑤ 更に、約 500 kgの積み上げた原料に1(2)②で準備した水をたっぷりと掛けます。(原料全体が完全に湿ったと思われる程度の量)
- ⑥ その上に残っている原料約 500 kg全部を積み上げます。このとき【大和光輪石】パウダー5 kg程度をかき混ぜて散布します。(合計 1,000 kgに対し 10 kgの量)
- ⑦ このとき(2)の②と同様にパイプを設置します。
- ⑧ 同積み上げた最後の原料の上から、全体が湿る程度の量の1(2)②の水を掛けます。
- ⑨ 同所に温度計を差し込んで温度が見られるようにします。

(3) その後の措置

- ① 上記の行程が終了した後1日(24時間)を置いてください。
- ② 前記24時間経過後に、攪拌して上下が入れ替わるようにしてください。
- ③ 攪拌するための重機等がある場合は、同重機で1日に2度ほど攪拌していただきます。
- ④ 攪拌用の重機がない場合は人力での攪拌になりますが、その場合最低1日に1回は攪拌してください。その際途中にパイプを必ず施設してください。
(エアーの確保が大事なのです。)
- ⑤ これを続けていただきます。

このとき、毎日温度計を見て温度を測定してください。

温度が65°C~70°Cになります。このとき【YK-YHG】の中に生息している【UMA】が糖蜜と【大和光輪石】のミネラルという餌とエアーという活力源を与えられて活発に活動をしている時です。

(4) 臭いについて

牛糞、豚糞、鶏糞あるいは食品残渣物はいずれも臭いがするものばかりですが、これらの臭いは処理を始めて1日~2日間はしますが、その後は微かな甘い発酵臭がします。

(5) その後(処理終了)

臭いが消えると同時に、段々と温度が下がってきます。そうして発酵臭もしなくなります。温度も通常の温度に戻り、臭いもしなくなりましたら出来上がりです。

そうになりましたら、乾燥をしてください。(自然乾燥がベターです・)

最初に約 1,000 kg あった原料が少なくなって約 350 kg～400 kg になっているものと思われませんが、その様な状態になりましたらベストの有機肥料(堆肥)が出来上がりです。

(6) 注意事項

【YK-YHG】の製造に米ぬかを使用しています。同米ぬかは製造後日にちが経過している場合があります、万一口クゾウムシが発生する場合がありますので、お米等を保管している倉庫の近くで実施しないようにしてください。

3 使用方法

- (1) 凡そ 1 週間程度前に土壌改良剤【大和光輪石】を均一に規定量を散布しておきます。
- (2) 農地 1,000m² 当たり【大和光輪石】パウダー (全部で 20 kg……先に約 1 kg 相当に換算する量を使用しますので残りの 19 kg) と、【YK-T】 40 kg を目安に与えます。

【YK-T】はφ 600 mm×H300 mm 程度の穴を 4 カ所掘って、1 カ所の穴に 10kg を入れ、さらに水を 60 ℓ～80 ℓ 入れます。その上部に 10 mm～20 mm 程度に土を被せておきます。

農薬の使用量が多かった農地や美馬まで化学肥料のみを使ってきた農地は 50 kg を目安に与えてください。

- (3) そのまま 1 週間～10 日程度放置した後、中耕又は深耕して作物を植えます。

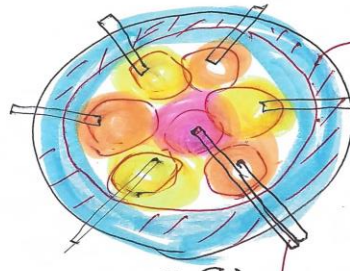
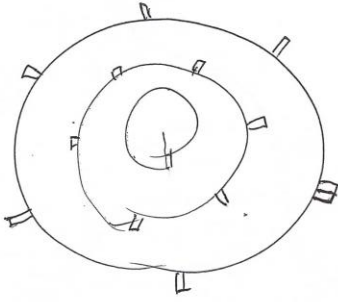
4 その他

外国特に農業後進国では、牛・豚・鶏等に抗生物質等を大量に与えるため、その残渣が糞尿の中に入っており、当然堆肥にも大量に含まれているため堆肥化しても使えないという問題点が浮上していますが、これらの抗生物質に限らず残留農薬・合成化学物質等凡そ毒物と言われるものは全て分解消滅します。重金属類は減少または消滅します。

5 別添図 1

【YK-T】を製造する場合のエア供給用パイプの施設方法

上から見た図

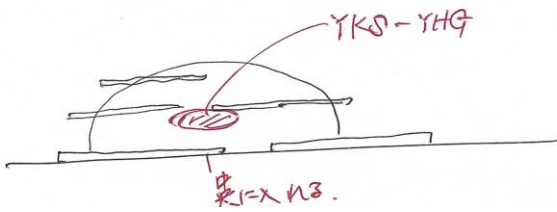


この辺りまで
エアーク
自然に入りす

(断面図)

1本は中央にある時に
入れる

横から見た図



以上